



INFORMATION

学会・研究会・講演会などのお知らせ



第18回 日本精神保健社会学会 学術大会・総会

日程：10月20日(土)

会場：東京医科歯科大学湯島キャンパス1号館西7階・第3講義室(東京都文京区)

テーマ：自己肯定を支える社会

プログラム：一般演題発表／総会／シンポジウム「自己肯定を支える社会」池内玲子(東京メンタルヘルス・スクエア認定カウンセラー)、熟田 桐子(TMA 認定カウンセラー)、宗像恒次(筑波大学名誉教授)、武藤清栄(東京メンタルヘルス)

参加費：会員 3000 円、非会員 4000 円、学生 2000 円

※シンポジウムのみ参加 2000 円、懇親会 4000 円別途

問い合わせ・申し込み先：事務局
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-39-8-3 階 TMA 内

☎ 03-3986-3220 FAX 03-3986-3240

✉ info@jamhs.org



知っているようで知らない 「性の健康セミナー」

日時：10月21日(日)13:30-17:00

会場：UDX 秋葉原(東京都千代田区)

参加費：3000 円

プログラム：講義・総論「アンチエイジングのセクシュアリティ・性機能障害最新情報と医療」大川玲子(国立病院機構千葉医療センター産婦人科)／講義「性機能障害—男性更年期とED」永尾光一(東邦大学医学部泌尿器科学講座)／まとめ・

質疑応答「多様化する性の悩みにどのように指導・相談をしていくか—アンチエイジングでの性を楽しむために」北村邦夫(日本家族計画協会)、大川玲子、永尾光一

対象：行政、医療の保健師、助産師、医師、看護師など

申し込み方法：ホームページ

(<http://www.jfpa.or.jp/>)より

問い合わせ先：一般社団法人日本家族計画協会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785 FAX 03-3267-2658



第9回 日本周産期メンタルヘルス 研究会学術集会

日程：11月10日(土)・11日(日)

会場：JA 共済ビルカンファレンスホール(東京都千代田区)

テーマ：ハイリスク妊娠とメンタルヘルス

プログラム

【11月10日】学術集会

一般演題／特別講演「母と子をつなぐホルモン、オキシトシン：マウスをモデルとした行動神経科学的研究」西森克彦(東北大学大学院農学研究科応用生命科学)／ランチョンセミナー「性同一性障害の現状と産婦人科の役割」針間克己(はりまメンタルクリニック)／シンポジウム「ハイリスク妊娠とメンタルヘルス」

【11月11日】研修会

「周産期における向精神薬の使用上の課題」鈴木利人(順天堂大学越谷病院メンタルクリニック)

参加費

【学術集会】会員 3000 円、非会員 4000 円、学生 1000 円

【研修会】3000 円

申し込み先：事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 順天堂大学産婦人科学教室

☎ 03-5802-2480

✉ mieya@juntendo.ac.jp



日本在宅看護学会学術集会

日時：11月10日(土)10:00-17:30

会場：高崎健康福祉大学1・6号館(群馬県高崎市)

テーマ：在宅看護の可能性を拓ける

プログラム：会長講演「変化する在宅看護」棚橋さつき(高崎健康福祉大学)／シンポジウム1「安心できる療養生活を支える看護のバトンリレー 訪問看護・介護施設看護・病院内看護」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)、宇野さつき(新国内科医院)、服部美加(吉田訪問看護ステーション)／シンポジウム2「訪問看護の質向上を考える—専門特化した看護実践から学ぶ」木村憲洋(高崎健康福祉大学)、後藤茂美(山梨県看護協会荒川訪問看護ステーション)、青木悠紀子(悠の木訪問看護ステーション)

参加費

【～10/15】会員 6000 円、非会員 7000 円

【当日】会員 8000 円、非会員 9000 円

大学生(要学生証提示)3000 円

※懇親会(昼食時)500 円当日別途

申し込み方法：参加費の銀行振り込みによる(群馬銀行高崎東支店(普)0844265、口座名「第2回日本在宅看護学会学術集会事務局」)

※支払者欄に氏名、会員番号、事業所名、住所の順に記入のこと。

問い合わせ先：事務局

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 棚橋研究室内

☎ 027-352-1291(内線230)

FAX 027-352-1445

✉ 2zaitakukango@gmail.com



INFORMATION

学会・研究会・講演会などのお知らせ



ナイチンゲール KOMI ケア学会 第3回学術集会

日程：11月17日(土)・18日(日)

会場：東京有明医療大学(東京都江東区)

テーマ：これからのコミュニティケアを発展させるために一核となる看護職と介護職のこれからを問う

プログラム

【11月17日】

研究報告「病気をケアの視点で見つめる」：1.「COPD(慢性閉塞性肺疾患)を看護の視点でとらえる」石川恵子(阪南中央病院)，2.「子宮がんを看護の視点で考える」林田理恵(同)，3.「糸球体腎炎を看護の視点でみつめる」林はつ子(大阪府済生会富田林病院)，4.「老人性白内障を看護の視点でとらえる」森弓子(同)／特別講演「諸外国からの学び」：1.「ドイツの職業教育の実態とこれから方向性」木戸裕(元国立国会図書館調査および立法考査局・立法調査員)，2.「オランダの訪問看護最前線の姿から学ぶもの」堀田聰子(労働政策研究・研修機構)

【11月18日】

指定演題「KOMIケア実践の最前線から」：1.「看護師が創る在宅ターミナルケアの家」松本京子(神戸なごみの家)，2.「重症心身障害児(者)ケアへの眼差し」増田多智(札幌あゆみの園)，3.「特別養護老人ホームの新人研修ってすごい！」上野興治(特別養護老人ホーム杜の家)，4.「KOMIケア理論の清潔看護技術への適用とその結果」高野美奈子(砂川市立病院看護管理室)，5.「病棟風土の変化—管理の視点から実践の充実へ向けて」太田美津子(福岡大学病院)／会長講演「日本の

看護と介護のこれからを問う—ドイツの看護教育制度を通しての提言」金井一薫(東京有明医療大学)／シンポジウム「これからのコミュニティケアを発展させるために一核となる看護職と介護職のこれからを問う」荒木重嗣，川上嘉明，堀田聰子，木戸裕，松本京子，戸島崇子

参加費

【～11/5】 会員 8000 円，非会員 1 万 2000 円

【当日】 会員 1 万円，非会員 1 万 2000 円

大学院生を除く学生 1000 円

申し込み方法：専用申込書を FAX，またはホームページから，11月5日(月)までに。

問い合わせ先：事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4 階

☎ 03-5981-6011 FAX 03-5981-6012

✉ komihonb@asas.or.jp

URL <http://www.komi.or.jp>



訪問看護サミット 2012

日時：11月18日(日)10:00～16:00

会場：住友不動産新宿グランドタワー(東京都新宿区)

テーマ：新生「訪問看護」—新しい波にのって

プログラム：リレートーク「流れを創る訪問看護師たちの実践」椎名美恵子(訪問看護ステーションみけ)，原田典子(オールライフサポート生きいき)，繁澤弘子(耕グループ)，齊藤裕基(ウェルファア，あゆみ訪問看護ステーション)，田中道子(あすか山訪問看護ステーション)／特別講演「『医療』と『介護』が“穏やかな死”の邪魔をする」中村仁一(老人ホーム同和園附属診療所)／シンポジウム「在宅ケアの新しい波にのって」基調講演「高齢者の在宅ケアを考える」山崎史郎(厚生労働省

社会・援護局)，小菅清子(在宅ナースの会)，久里美和子(滋賀県済生会地域ケアセンター)，安藤真知子(在宅ケアセンターひなたぼっこ)

定員：700 名

参加費：5000 円，大学院生を除く学生 2000 円

申し込み方法：ホームページからダウンロードした申込用紙を FAX

問い合わせ先：日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階

☎ 03-5778-7001 FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>



千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア 看護学主催 第2回市民協働シンポジウム

日程：11月24日(土)

会場：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館(千葉市稲毛区)

テーマ：あなたは最期までどのように生きたいですか？

プログラム：講演1「平穏死—あなたらしく最期を迎えるために」石飛幸三(世田谷区立戸別養護老人ホーム芦花ホーム)／講演2「家族とともに，あなたらしい晩年期を迎えるために」桑田美代子(青梅慶友病院看護介護開発室)

参加費：無料

申し込み方法：①氏名，②所属，③連絡先と住所・電話番号を FAX，または E-mail で。

申し込み締め切り：11月21日(水)

申し込み・問い合わせ先：千葉大学大学院看護学研究科 エンド・オブ・ライフケア看護学

☎ FAX 043-226-2782

✉ elcn@chiba-u.jp

URL <http://www.n.chiba-u.jp/eolc/index.html>



INFORMATION

学会・研究会・講演会などのお知らせ



日本精神衛生学会 第28回大会

日程：11月24日(土)・25日(日)
会場：東京農工大学小金井キャンパス(東京都小金井市)
テーマ：ゆれる日本を生きる一つながりのしくみと科学

プログラム

【11月24日】演題発表／大会長講演「学生相談から精神衛生を語る」／理事会・総会／シンポジウム「南相馬をともに歩む」／教育講演「慈悲の怒り―震災後を生きる心のマネジメント(仮)」／懇親会

【11月25日】演題発表／特別講演「つながりでひらく未来」／鼎談「点から面へ、個性をのばす生涯サポートを考える」

参加費：学生3000円、(事前)会員5000円、非会員6000円、(当日)会員6000円、非会員7000円、懇親会費4000円

申し込み方法：指定の口座に参加費を振り込み、下記大会ウェブサイトからダウンロードした参加申込書に必要事項を記入のうえ、大会事務局へのメールに添付のこと。

申し込み締め切り：10月12日(金)

問い合わせ先：日本精神衛生学会第28回大会事務局

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内

✉ seishin_eisei28@yahoo.co.jp

URL <http://jamh2012.jp>



第32回 日本看護科学学会学術集会

日程：11月30日(金)・12月1日(土)

会場：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

テーマ：日本再生のとき、看護学の真価を問う

プログラム：会長講演「これからの日本社会と看護学の展望」太田喜久子(慶應義塾大学看護医療学部)／特別対談「日本再生のとき、科学者の責任とは」南裕子(高知県立大学)、村上陽一郎(東洋英和女学院大学)／特別講演Ⅰ「『再生』とはなにか」上田紀之(東京工業大学リベラルアーツセンター)／特別講演Ⅱ「看護・イノベーションへの期待」金子郁容(慶應義塾大学政策・メディカ研究科)／教育講演Ⅰ「医療におけるケアという営み」清水哲郎(東京大学大学院人文社会系研究科)／教育講演Ⅱ「再生への道を描き、動く、看護学の力」川嶋みどり(日本赤十字看護大学)／シンポジウムⅠ「再生から未来へ―看護学探求者からの発信」安保寛明(岩手晴和病院)、大久保暢子(聖路加看護大学)、杉田塩(厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課)／シンポジウムⅡ「地域再生への挑戦」中村伸一(おおい町国保名田庄診療所)、秋山正子(白十字訪問看護ステーション)、春山早苗(自治医科大学看護学部)ほか

参加費

【事前登録】会員1万円、非会員1万2000円

【当日登録】会員1万2000円、非会員1万4000円

大学院生を除く学生3000円

※懇親会費6000円別途(事前申込)

申し込み方法：オンライン登録(10月12日12時締切)

問い合わせ先：事務局

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411 慶應義塾大学看護医療学部または〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル コンベンションリンケージ

☎ 03-3263-8688 FAX 03-3263-8693

✉ jans2012@c-linkage.co.jp

URL <http://www.c-linkage.co.jp/jans2012/>

URL <http://jans.umin.ac.jp>



第27回こどもの城 小児保健セミナー 多様化する親子へのかかわり方

日時：12月1日(土)10:00-16:45

会場：こどもの城9階研修室(東京都渋谷区)

プログラム：「幼児期からの発達障害への対応」古荘純一(青山学院大学)／「親の立場から望む子育て支援」普光院亜紀(保育園を考える親の会)／「親の話の聴き方・答え方」吉田弘道(専修大学)

対象：子育て支援の現場に携わる専門職

定員：100人(先着)

参加費：7000円

申し込み方法：所定の申込用紙による。

申し込み・問い合わせ先：こどもの城小児保健部(担当：太田)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

☎ 03-3797-5667 FAX 03-3797-5551



第11回 認知症高齢者ケア実務者 研修会

日時：12月1日(土)13:20-17:25

会場：日本教育会館(東京都千代田区)

テーマ：認知症高齢者へのより良い環境づくり

プログラム：「認知症とは何か一週りの環境の重要性」片山禎夫(川崎医科大学神経内科)／「療法的園芸－認知症の方への庭造り」ウェアリング智子，マイケルJ.クロニン／「認知症と色－高齢者住宅での色の役割」稲田恵子(稲田恵子オフィス)
対象：看護師，ケアマネジャー，介護福祉士，管理者，事業経営者等
定員：60名

参加費

1名参加1万5000円，2名参加2万5000円，3名参加3万円，4名参加3万2000円，以降1名増えるごとに+8000円(すべてテキスト代含む)

申し込み方法：FAXまたはE-mailまで。

問い合わせ先：タムラプランニング&オペレーティング(担当：中里)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-13 宝永錦町ビル601

☎ 03-3292-1107 FAX 03-3292-3288

✉ nakazato@tamurakikaku.co.jp



**日本子ども虐待防止学会
第18回学術集会
高知りょうま大会**

日程：12月7日(金)・8日(土)

会場：高知県民文化ホール，高知会館ほか(7日)／高知県立大学池キャンパス(8日)

申し込み締め切り：10月31日(水)

プログラム

【1日目】特別講演「大規模災害の被災地における支えあいから学ぶもの」南裕子(高知県立大学)／基調講演「虐待と関係性の世界：むきあい，ふりかえり，気づきあう」渡邊久子(慶應義塾大学医学部小児科)／シンポジウム／一般演題，ポスターセッションなど

【2日目】分科会・一般演題など／教育プログラム／ライフステージ別シンポジウム

問い合わせ先：日本子ども虐待防止学会第18回学術集会高知りょうま大会事務局

〒780-0870 高知県高知市本町4-1-37 高知県社会福祉センター3階 高知県社会福祉協議会分室

✉ jaspican-in-kochi2012@wine.ocn.ne.jp

URL <http://www.jaspican.org/18th>



**聖路加国際病院看護部主催
第9回看護実践講座**

日時：12月15日(土)10:00-16:30

会場：聖路加国際病院旧館5階研修室A(東京都中央区)

テーマ：事例を通して学ぶ－がん患者とナースのための心のケア

プログラム：事例検討「うつ・希死念慮の評価と対応」「認知行動療法和家族への対応」保坂隆(精神腫瘍科医師)／演習「ケアする人のケア－ナースのストレスマネジメント」紺井理和(リエゾン精神看護師)

参加費：5000円(資料代込み)

定員：80名(先着順)

申し込み方法：1人1枚のハガキ，封書またはFAXにて，①参加者氏名，②勤務先・所属，③連絡先住所・電話・FAX・メールアドレスを下記まで。

申し込み締め切り：11月17日(土)消印有効

申し込み・問い合わせ先：聖路加国際病院看護管理室

〒104-8560 東京都中央区明石町9-1

FAX 03-3544-0649

✉ nurse@luke.or.jp